

児童自立支援施設とは

- ・児童福祉法に基づき、東京都が設置した児童自立支援施設が2か所あります。
- ・入所児童※が、毎日の生活を通して自分自身を見つめ直し、健全な社会の一員として生きていく力を身に付けられるよう、心身の成長及び自立を支援しています。
- ・対象年齢は、小学校高学年から高校生年代までです。
- ・また、退所児童に対し、相談・援助も行っています。

※不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童

児童自立支援施設における
福祉職の割合

14.9%

その他、行政職(事務)
心理職・栄養士・調理

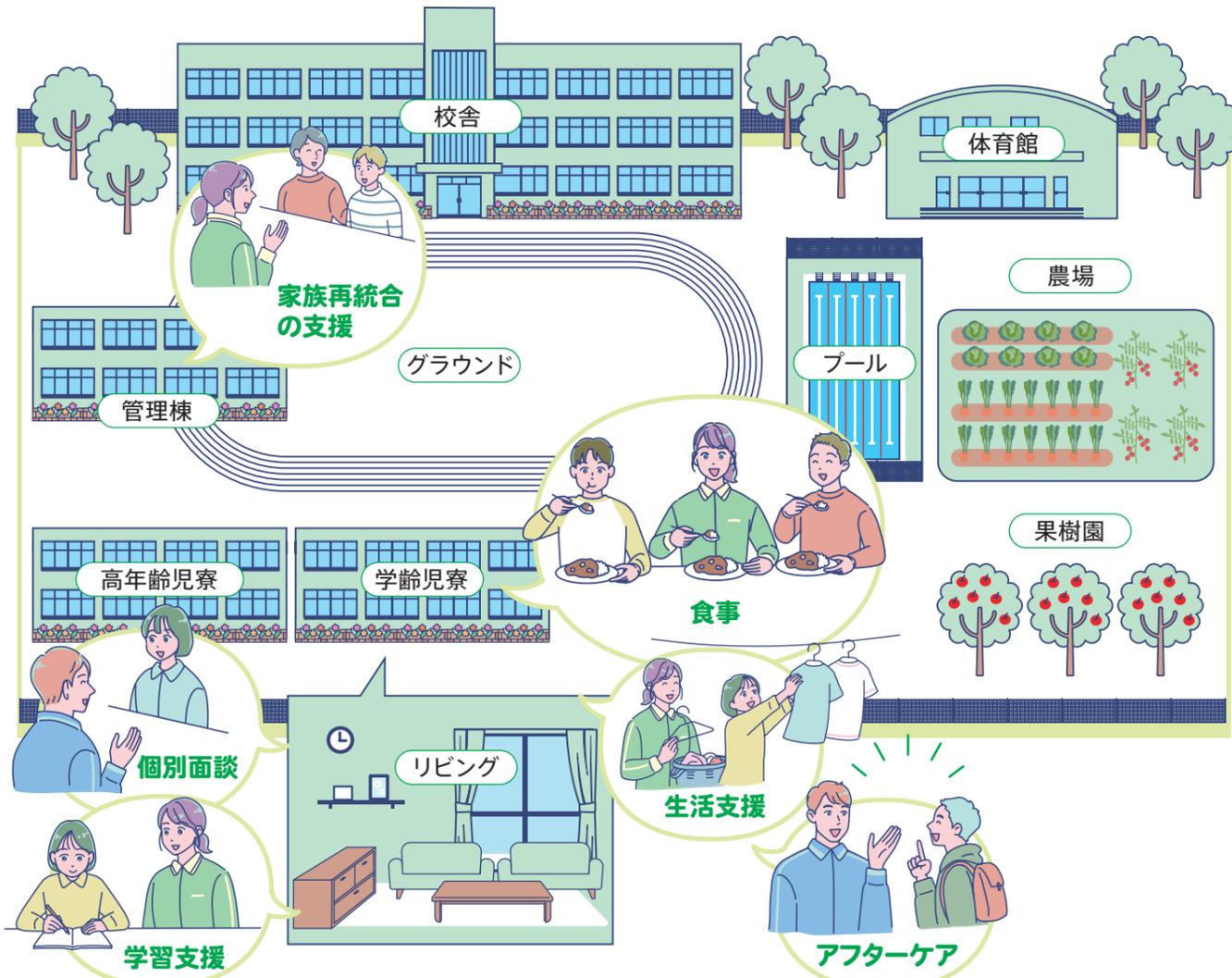
85.1%

福祉職

(令和6年6月1日現在)

- ・福祉職が主役の職場であり、各寮5名で交替制勤務を行いながら、保護者に代わる存在として、子供の生活全般を支援しています。
- ・チームワークのとれた風通しの良い組織を目指し、学校教員、心理職、事務職等の多職種が一丸となって支援に当たっています。

イメージマップ



仕事内容

生活支援

福祉職が、子供と起居をともにしながら、健康的で温かな集団生活を通して、基本的な生活習慣やマナーが身につくよう支援しています。

中学校卒業児童のための高年齢児寮では、高校等の通学や高等部(施設内学級)での活動を支援しています。

家庭支援

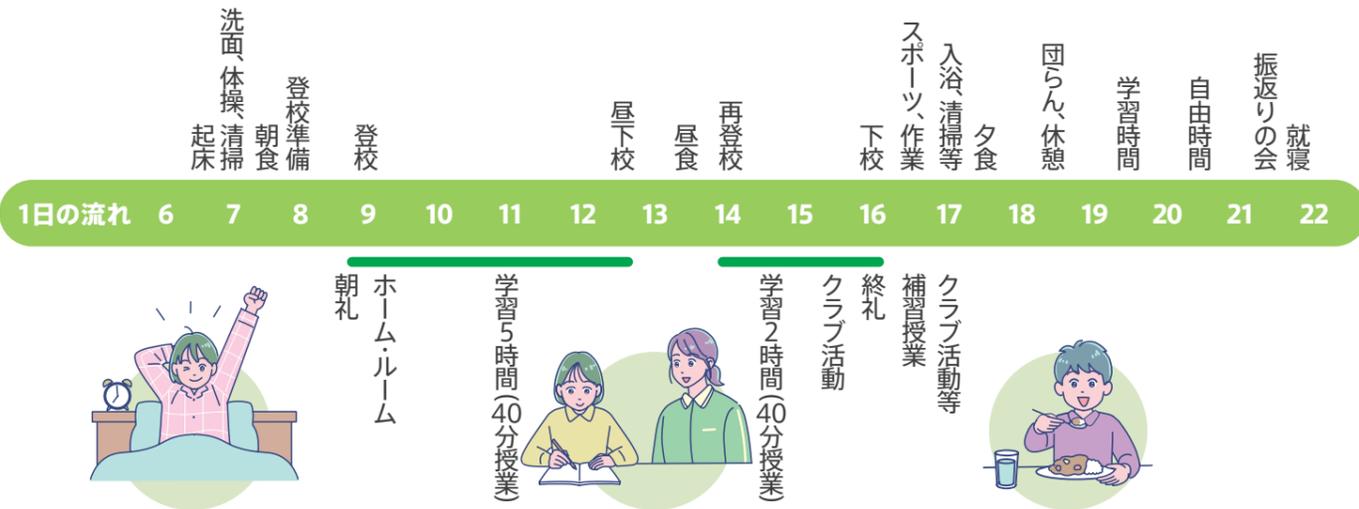
子供と保護者・家族との関係性の結び直しに向けて、課題解決を図りながら家族再統合の支援に努めています。

学習支援(学校との連携・協働)

施設内に学校があり、各教科で複数の教員によるチームティーチングを行っています。また、農業実習等の職業支援やクラブ活動、全校遠足・運動会等の行事は、学校教員と施設職員が連携・協働して支援に当たっています。

退所後の支援(アフターケア)

退所後も安心して社会生活を送れるように、来校、訪問、電話等による支援を行っています。



東京都児童自立支援施設の魅力

- 1 家庭的な雰囲気のある各寮舎で、生きづらさやそれぞれの課題を抱えた子供たちの発達段階や特性も踏まえて、一人ひとりに寄り添いながら育ち直しを支援する中で、子供の変化を実感できる、やりがいのある職場です。
- 2 子供が将来の社会参加への意欲を高められるよう、学校教員や心理職等と連携し、多角的な視点で支援できる専門性を身に付けられる環境があります。
- 3 家族再統合やアフターケアの支援により、退所後も安心して生活できる環境の構築にチャレンジできます。
- 4 トラウマについて学ぶ、若手職員の話や他施設や医療機関を見学するなどの施設内研修、全国の児童自立支援施設が集まる研修等に参加しながら、支援のスキルや専門性を継続的に高められます。
- 5 各寮舎の交替制勤務に入った場合、宿直の回数に応じた手当が支給されます。

VIEW MORE

インタビュー動画公開中!



児童自立支援施設 施設職員 Kさん

子供と家族の“絆”
を取り戻すやりがいの
ある仕事です

温かな雰囲気の中で 子供の成長を見守りたい

以前より家族支援に興味があり、学生時代に社会福祉の勉強を進める中で、子供と長期的に関わり支援する仕事がしたいと思うようになりました。東京都を志望したのは、就活を始めたタイミングでゼミの教授に相談したときに、東京都の福祉職を教えてくださいましたのがきっかけです。

それから、東京都に就職した卒業生の話の聞いたり、ホームページを見たりして情報収集し、東京都であれば家族や地域の関係機関と協力しながら、自分の考える支援が実現できるのではないかと思います。

児童自立支援施設については、正直なところ、あまり情報がなく少し不安もありました。でも実際に就職したら、様々な作業や運動を子供と職員と一緒に協力して行う、本当に温かい環境だとわかりました。

集団生活の中で子供に寄り添った支援を

私たち職員は、子供が朝起きてから寝るまで基本的に一緒に生活をしています。掃除や食事など当番を分担し、集団生活を送る中で社会性や規律を身につけられるよう支援しています。

また、個別面談において、進路や日々の生活についての思いを聞き、抱える悩みや問題を引き出して子供たちが自身で振り返りができるように支援しています。

また、アフターケアとして、退所してからもちちゃんと学校に通えているか、規則正しい生活が送れているか、ご家族とのコミュニケーションはよく取れているかなど、定期的に連絡を取り、時に面会をすることもあります。卒業生の楽しそうな様子を聞くと、こちらまで嬉しくなります。

経験豊富な先輩からのアドバイスを糧に

職場内では定期的な研修や学習会があり、自分の専門性や知識を深める機会にしています。初めは業務を覚えるので精一杯だった私も、このような機会があるので、日々ステップアップしていきました!

学習会というのは、新任の職員が「子供との距離感」「子供との良い関わり方」「引き継ぎのコツ」など、新任ならではのテーマを毎回一つ決めて、参加した職員が共に学び合う会のことです。新任の頃は業務への期待と不安の中、子供への支援のあり方を模索している真最中ですので、こういった先輩方の経験やアドバイスは非常に勉強になりますし、安心材料にもなります。自分自身が業務を覚えながら子供の支援も行うのはとても大変でしたが、そんな中で聞いた先輩方のお話は今でもとても心に残っています。

子供の成長が家族の成長へ… そして私の成長へ

子供たちの近くで日々成長を見守ることができることは、この仕事のやりがいにつながっています。

初めは心を開いてくれなかった子供たちが、共に生活していくうちに心の扉が少しずつ開いていき、「大人に話してもいいんだな」とか、「大人に相談してみようかな」と思うようになってきてくれること。今まで怒られることが多くて自分に自信が持てずにいた子供たちが、できることを少しずつ積み重ねていって、自分の自信につなげていく姿。そうした日々の小さな成長の積み重ねを感じる事が私の大きな喜びです。

お家にいた時には歯磨きすら嫌がり、心配するお母さんともみくちやになるくらい喧嘩してしまうような子がいたんですが、入所してから歯磨きの必要性を一つずつ丁寧に伝えていくうち、当たり前のように



できるようになり、保護者の方にそれを伝えたら本当にびっくりしていました。

子供たちの成長の様子を聞いたご家族が、「子供も成長しているのなら自分も頑張ろうかな」と励みにして下さるのもとてもうれしいです。子供の成長やご家族の変わろうとする姿勢は、私自身も成長させてくれます。

子供と家族の“絆”を取り戻すお手伝いという重要な役割を担っているのだと誇りに思える仕事です。

子供の成長を願う大人の一員として、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

東京都 nice point!

児童自立支援施設職員住宅

児童自立支援施設では、敷地内に職員が居住できる職員住宅(世帯用・単身用)を用意しています。敷地内にあるため通勤の負担が大幅に軽減されるだけでなく、福祉職員には使用料の減額が適用されるので、周辺の平均的な賃貸物件と比較しても安価に居住できます。

※職員住宅は、空室状況により入居できないことがあります。

